

ザルツブルガー

レディブティックシリーズno.1480

# ゲビンデ



木の実やスパイス・造花などを束ねて作るクラフト



Gebinde

ドイツ・オーストリアの  
伝統的な手芸  
「ゲビンデ」  
自然素材の素朴さと  
造花やビーズなどの  
副素材を豊富に  
使うところが  
魅力です。

中尾千恵子著





本誌に掲載された作品の材料に関するお問い合わせは、松村工芸株式会社まで。

本社

〒577-0056 大阪府東大阪市長庭3-2-23  
☎05-6782-3336

アンナサッカ(大阪北支店)

〒530-0014 大阪府大東市北区鶴野町2-19  
☎06-6371-7863

(株)アンナサッカ

〒101-0044 東京都千代田区霞が関1-10  
・7太洋第三ビル1F ☎03-5287-2740



掲載作品の作り方に関するご質問は、月曜日～金曜日（祝日を除く）の③09:00～18:00までお問い合わせください。電話番号はお間違えのないようにお願いします。 ☎03-3673-0201（直通番号）

#### ピーズ 提供

松村工芸株式会社  
本社 〒577-0056 大阪府東大阪市長庭3-2-23  
☎05-6782-3336

東京営業所 〒101-0044 東京都千代田区霞が関1-10-7太洋第三ビル1F  
☎03-5287-2740

大阪営業所 〒530-0014 大阪府大東市北区鶴野町2-19  
☎06-6371-7863

☎06-6782-3336

# CONTENTS

- 4 CHAPTER 1  
ゲビンデの世界へようこそ
- 16 CHAPTER 2  
ゲビンデを楽しめましょう
- 22 CHAPTER 3  
作り始める前に
- 26 CHAPTER 4  
パーツを作りましょう
- 36 CHAPTER 5  
作品を作りましょう
- 41 通信販売のご案内
- 43 掲載作品の作り方
- 63 本誌掲載作品の  
キット販売をいたします

#### お便りください

下記のアンケートにご協力いただいた方の中から抽選により  
賞品を差し上げいたします。  
（作りたい、または作った作型の番号、  
（この次はどこに書かれましたか、  
（この次はどちら本が新しいですか、  
（作り方ページを始めた本数に質するご意見、ご感想など、  
以上と、性別、氏名、年齢、職業、電話番号をお書き添えの  
上、窓口の方までお送りください。

あて先：〒102-0020 東京都千代田区平河町1-8-3

株式会社ブリック社  
☎03-3673-0201



#### 作品製作協力

石井万造子 石原美智子 関原子 菊野恵子  
小林季子 出町弓子 佐藤忍 鈴木季子  
岡田法保徳 古川栄智子 今井雅苗

#### 撮影協力

イエナ洋菓子店 エトワール浪漫 オレンジハウス近習店  
東京ハンズ西台店 P's decoration ホルトボーグル

#### STAFF

構成／松村洋一 美術／河原レイアウト／河田  
美子 イラスト／小林佳美 せらみよ子 編集  
室力／関野さえ子 鹿島用昌／野中田紀



## MESSAGE

幼い頃から花に親しみ、山に囲まれ自然が豊富な岐阜に生まれ育った私は、よく山へ出掛けて行つては木の実を集めで遊んでいました。様々な手芸や美しいものが大好きで、フラワーデザインを教えている時に出会ったザルツブルガーゲビンデにはすっかりとりこになり、ゲビンデ作りの楽しさを多くの方に伝えられたら、と願うようになりました。「スパイスの飾り花・ゲビンデ」(誠文堂新光社刊)を出版後には、さらに多くの方が全国各地から私のもとに集まつて来て下さいました。やがて生徒から講師となり、それぞれに地元でゲビンデ作りの楽しさを伝え始めるようになられ、教え、伝える喜びと共に分かちあえる仲間ができました。この本は、教室の講師たちと力を合わせて、初めての方でも作りやすいデザインの作品にしました。それぞれの作品のよさが作る方の参考となり、ゲビンデ作りをお楽しみいただけたらと願っています。木の実やスパイス、自然の恵みに触れて、自然の大切さを感じて頂けたら幸いです。

Chieko Nakao  
中尾千恵子

教室のご案内



### Profile

日本杰来の生け花を通して、花と出会う。フラワーデザインを教えるたむら、ドイツ、オランダ、フランスなどヨーロッパ各地で一芸デザイナーの指導を受ける。そこでドイツ人講師よりザルツブルガーゲビンデを習得。1992年、オランダ・フローラードのデザインコンクールにおいて女王の王庭部門第3位を受賞。国内でも手工艺コンテストなどで多数受賞。現在はカルチャーセンターでの講師の他、テレビ出演、雑誌での連載やイベントのデモンストレーションなどで活躍中。著書に「スパイスの飾り花・ゲビンデ」(誠文堂新光社刊)がある。大阪府大淀町在住。「ザルツブルガーゲビンデショーレ」主宰。

CHAPTER  
1

# ゲビンデの世界へようこそ



## ゲビンデとは・・・

ゲビンデの語源はドイツ語の "binden"。"gebunden" は、「結わえ束ねた」という意味で、"gebinde" は「花などの束」という意味があります。ゲビンデは木の実やスパイス、造花を多く用い、ブリヨン（金属製の飾りワイヤー）やバル、ビーズなどを組み合わせてからびやかなパーツを作り、高度なワイヤリングによって部屋飾りなどの作品に仕上げていきます。このパーツの材料の組み合わせを変えるだけで、様々な雰囲気の作品を作ることができるのも、ゲビンデの楽しみのひとつです。作り上げた作品は、保存状態がよければ半永久的にとておくことができ、また、スパイスを多く用いているので良い香りが楽しめます。スパイスの種類や分量を調節して作品を作るのも良いでしょう。



## ゲビンデの歴史・・・

ゲビンデは、18世紀中頃のドイツ南部（バイエルン）、アルプス地方に始まり、主に教会の布教活動を支えるために修道女が作り、パンやお菓子などと共に売られていたということです。現在でも教会前の広場にお店が並び、クリスマス市の時期にはとても美しく飾られたゲビンデを多く見ることができます。広場にあるお店より、ゲビンデの専門店のゲビンデのほうが丁寧に作られていて、室内装飾品や身につける小物なども売られています。また、ドイツとオーストリアとの国境の街ザルツブルクで作られているゲビンデを「ザルツブルガーゲビンデ」（ザルツブルク風のゲビンデ）と言いますが、年々華やかさを増し、洗練されて作品も高度なものになり、布の花や種の花、ドライフラワーを多く使用した昔のゲビンデとは雰囲気が変わってきています。ゲビンデ作りに使用されているブリヨン（金属製の飾りワイヤー）の種類はドイツでは豊富にあり、古くからキリスト教の聖職者が祭礼に着る礼服や装身具などにもゴールドやシルバーのブリヨンを巧みに使い、模様を描いたそうです。このブリヨンは、他の手芸でも使われています。



ゲビンデには、代表的な組み立て方のデザインがいくつかあります。このCHAPTER 1ではまず、シュトラウス式、ツォップ式、クランツ式、挿し込み式、貼りつけ式という5つの代表的な組み立て方別に、作品をご紹介します。



ゲビンデの旅…



1-2 ゲビンデの専門店にて。様々な花色、形のゲビンデが店内に飾られています。見ているだけでも楽しめます。

3-4-5 ドイツへのセミナー旅行。本場の作品作りに触れられます。

■ Gerlinde Baumgartner先生。

■ 街で売られているゲビンデ。



※このページのドライでの取扱いの作品は参考作品のため作り方は掲載されていません。



## シュトラウス式

### 1 シュトラウス

作り方 36ページ(プロセス解説)  
造花とリボンとマンシェッテを、  
ピンクでそろいにしたシュトラウス。  
ブリヨンで飾ったクロープもポイントに。



シュトラウス(Strauss)とは  
花束を意味するドイツ語で、  
ゲビンデの代表的なデザインです。  
ワイヤリングしたバーツを  
半円形に束ねたもので、  
マンシェッテと呼ばれる花束の  
受け台を使用するときれいです。  
そのままテーブルに置いて飾ったり、  
バスケットなどに入れて飾ります。



## 2 シュトラウス

作り方 44ページ

ブルーとゴールドの2色がホーリーナの豪華な印象のシュトラウス。  
プレゼントに差し上げても素敵です。

## 3 シュトラウス

作り方 43ページ

透花やビーズ、マンシエッテのブルーが  
とても爽やかなイメージ。  
ブリヨンの花を中心にして。



## 4 シュトラウス

作り方 45ページ

3の作品のベースの種類や色を少し  
変えたらまた違った印象に。クロープを  
沢山使っているので良い香りが漂います。



## 5 クルミのアンヘンケゼル

作り方 48ページ

小さめに作ったシュトラウスを、  
クルミに取り付けたデザイン。  
アンヘンケゼルは「吊り下げ飾り」の意味。

続きは  
完成版で  
お楽しみ下さい。